



『挨拶』はなぜするの？

先日、学校運営協議会が本校で行われ、生徒会役員と専門委員長が出席し、地域の方と意見交流を行いました。その中で『挨拶』が話題となりました。生徒からは挨拶の重要性について理解がある一方、『知らない人に自分から挨拶をするのは難しい』といった意見がありました。挨拶はなぜ重要なのでしょうか。



挨拶には、地域の方との相互認知やコミュニケーションの機会をつくるなど、人と人とのつながりを深める効果が期待できます。周囲とつながることによって、自然と地域コミュニティが形成され、地域外の者に対するチェック機能がはたらくようになるそうです。そして、このチェック機能が空き巣などの犯罪抑止に効果を発揮します。犯罪者は必ず事前に現場を下見します。警察庁の「住まいの110番」によれば、この下見の時に犯行をあきらめる理由が多いのが「近所の人に声をかけられたり、ジロジロみられたりした」なのです。

朝の見守りや旗を持って横断歩道にいる方は、皆さんのために働いてくれている方です。また学校内では生徒の皆さんや先生だけでなく、保護者の方、地域の方、業者の方など、多くの人がいます。校舎内にいる人は、君たちが見えないところで六中を支えてくれている人なのです。

「**あかるく いつでも さわやかに たえよう**」を日ごろから意識して、挨拶があふれる六中にしていましょう！

7・8月の生活目標

夏休み中も、規則正しい生活を送ろう。

～充実した夏休みに！～

いよいよ明後日から、夏休みが始まります。44日間という長い期間ですが、始まるとなあという間に終わってしまうものです。せっかくの44日間ですので、ダラダラ過ごすのではなく、『なつやすみ』を合言葉に過ごし、9月には一回り成長した姿を見せてほしいと思います。



- な 何事も計画的に目標をもって取り組もう。
- つ 積み残しを減らそう。(学習)
- や 約束を守ろう。(家族、スマホ、交通ルール)
- す 進んで取り組もう。(手伝いやボランティア)
- み 皆で元気に、始業集会に会おう!



※詳しくは夏休みのしおり『令和7年度 夏休みの生活について』を確認してください。

※夏休みのしおりには『相談窓口』もあります。必要に応じて活用してください。

保護者の皆様、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。明後日から44日間の夏休みとなり、家庭や地域で過ごす時間が増えます。学校でも夏休みの過ごし方について、学年集会や終業集会で伝えますが、ご家庭でもお話ししていただけます。